

ハーレー・ダビッドソン
ライフマガジン

Harley-Davidson
LIFE MAGAZINE FOR BIKERS

Let's go 4WD
2月号増刊
バイブズ
Vol.16

VIBES

風輪('95年 国内バイカーズ イベント ガイド)

**1995 BIKER'S
EVENT GUIDE**

新春 バイブズ ビッグ プレゼント

**NEW YEAR
BIG PRESENTS**

バイカーズグッズ(サドルバッグ)

SADDLE BAG

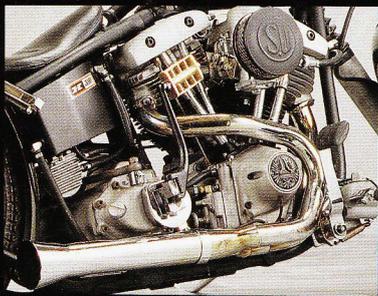


【特集】バイカーズ アイ(1995年へ向けて...10枚のメッセージ)

BIKER'S Special EYE



NAKED WILD



日本のハーレーカスタムシーンにおいて、現在メインストリームとなっているのがロコボーイスタイル。少し古目のバイクをベースに低く、平べったい、地を這うようなスタイルでストリートを徘徊する。

そんなスタイルをジャバンドラッグにてカスタムされたこの'77年型FXE。純正フレームの後半にハードテールをウェルドオン。ナックルヘッドにも負けないような美しい曲げが自慢だ。この場合車高が低ければ低いほどそのカッコよさも引き立つのだが、全体の美しいフォルムを崩さず、しかも実用性のあるバンク角と車高を持たせている。

一見びっくりしてしまうようなハンドルは、オリジナルのアンティックドラッグバー。前から見ると'20年代のレーサーのようでもあり、横から見ればアンティックの雰囲気漂う。しかも見かけ倒しではなく、手を延ばせばそこにあるポジションの良さも兼ね備えて

いるのである。

エンジンは基本的にストックながら、SUキャブとアンドリュースのJカムが装着されてポテンシャルアップ。マフラーは意外にもネスの2in1コレクトだが、昔のジェットエンジンのような印象を受ける。

フロントフォークはFLのものをストックのまま流用。スプリンガーやスポークホイールにはしないで、ホワイトリボンタイヤを履かせることで太く短く見せている。リアプレーキはFXST用を流用している。

薄いシートはソロシートでピリオンパッドがつくのだが、これは着脱が容易でソロの時は前方につけてライダーをホールドし、タンデムの時は後方に移してやるといった具合になっている。

ストリートランブラーとして軽快に走り抜けるこのバイク。一目見て、「これに乗ってみたい!」という人が多いそうだ。

PHOTOGRAPHER:
FUMIHARU KANAZAWA

MODEL:
TSUKASA ADACHI

HAIR MAKE:
TAKAKO YAMAGUCHI

STYLIST:
YOKO HANYUDA

SPECIAL THANKS:
JAPAN DRAG
CUSTOM CYCLES
TEL 0492-46-3528

ARIZONA
FREEDOM
TEL 0473-24-0227



VIBES SHOT

Get into ecstasies Custom Harley

